

国際会長 (IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)

“Mission with Faith”

「信念のあるミッション」

アジア地域会長 (AP) Edward K.W. Ong (シンガポール)

“Through Love, Serve”

「愛をもって奉仕をしよう」

東日本区理事 (RD) 渡辺 隆 (甲府)

「原点に立って、未来へステップ」

“Stand at the origin and take a step for the future”

湘南・沖縄部部長 (DG) 今城 高之 (横浜つづきワイズメン&ウイメンズ)

「一人ひとりが愛と平和の種をまこう」

横浜クラブ会長 (CP) 金子 功

「クラブの伝統に誇りを、明日に自信を」

“Pride and confidence for the future”

会長 金子 功  
副会長 高杉 治興  
書記 伊藤 誠彦  
会計 古田 和彦  
直前会長 天野 皓司

監事 舟田 正夫  
ブリテン 高田 一彦  
担当主事 青木 一弘

＜今月の聖句＞

押川 幸男

「マリアは墓の外に立って泣いていた。泣きながら身をかかめて墓の中を見ると、イエスの遺体の置いてあった所に、白い衣を着た二人の天使が見えた。一人は頭の方に、もう一人は足の方に座っていた。天使たちが、「婦人よ、なぜ泣いているのか」と言うと、マリアは言った。「わたしの主が取り去られました。どこに置かれているのか、わたしには分かりません。」こう言いながら後ろを振り向くと、イエスの立っておられるのが見えた。しかし、それがイエスだとは分からなかった。」(ヨハネによる福音書20章11～14節)

今月のひとこと

「不肖の息子、教会へ還る」

高田 一彦



船橋に移り住んで早5年。横浜から転居居したばかりの平成23年3月11日に医療センターのCTスキャンのドームの中で東日本大地震に遭遇し、3回もスキャンをやり直した経験が懐かしく思い出される。

牧師の息子に生まれながら、高校卒業以来、親元を離れると、長年教会から遠ざかっていた。4年前、母親の鎌倉教会からの転会を機に何とか近くの教会へ行ってみたくてインターネットで調べていた時に、船橋教会のホームページに出会った。初めて船橋教会を訪れた時、教会の門を入った所にYMCAのマークが掲げられていたのが印象的で、礼拝堂の中もなんとなく親しみを覚えたことを思い出す。

礼拝後の新入者の紹介があった時に、何人かの方に声をかけて頂き、その一人が、元東京YMCA主事の吉崎さんで、顔はよく存じ上げていた。数回後の小林牧師の説教で、「私は牧師の息子で、若いころ、親に反発して教会から離れた不肖の息子で、私は放蕩息子なのだ」と言われた時に「これは自分のことだ!」とすっかり共感してしまった。

YMCAまでは、戻って来たものの、教会への復帰はこの船橋教会であったと言える。小林牧師の説教も分かりやすく感じていた折、小林牧師の父上が、私の弟(現在九段教会牧師)と神学校時代に同期であったとのことを知り、より親しみを覚えた。また、教会員の中尾さんも横浜クラブの松島ワイズの友人であり、中尾さんの奥さまは私の父から洗礼を受けたこと等が分かった。また、イースターと一緒に転入会した廣田さんの御主人は、東京YMCAの廣田総主事であることなど、教会、YMCAの業界(?)の狭さを感じた次第。

今は、毎週教会へ通う敬虔な(?)クリスチャンとなり、過去2回のクリスマスには、サンタクロースになり教会学校の子供達を喜ばせたり、毎月の壮年会に参加している。

この3月の教会総会で長老に選挙され、最近、姉から電話があった時に、教会の長老選挙で選ばれたことを話すと、天国の両親もきっと喜んでくれるであろうと言ってくれた。

＜2016年4月例会実績＞

在籍者	出席者	出席率	B F	
20名	メン 16名	84 %	今月分	
(功労)	メネット 2名	(メーキャップ	切手	0g
会員1	コメント 0名	名を含む)	現金	0円
名を含む)	ビジター 0名		年度累計	
	ゲスト 2名	前月修正出席	切手	0g
	合計 20名	率	現金	0円

★ 強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う ★

## <5月の行事予定>

EF/JEF

日	曜	時間	行事内容	場所
6-7	金	15:00	横浜クラブ第一例会 兼一泊研修会	上郷森の家
26	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y
28	土	17:00	横浜YMCA会員総会	とつかY

## <4月例会報告>

伊藤 誠彦

日時：4月14日（木）18:30～20:30

場所：横浜中央YMCA501号室

出席者：青木、天野、伊藤、今村、大江、大高、金子、  
神村、古賀、齋藤、高田、田口、成瀬、舟田、  
古田、松島

ゲスト：生井知三（卓話者）、野村郁雄

舟田ワイズの司会により、金子会長の開会点鐘で定刻に開始。ワイズソング、ワイズ信条唱和、今村ワイズによる聖句。続いて、病気療養から4ヵ月ぶりに見事復帰された天野ワイズ紹介。今村ワイズによる食前感謝と食事。

今例会の卓話は 本年4月1日から横浜YMCA学院専門学校校長に就任された生井さんの「作業療法 YMCAがめざすもの」。横浜中央YMCAにある横浜YMCA学院専門学校は横浜YMCAの4つのカレッジのなかの二つの科、作業療法科とスピーチコンテストでお馴染みの日本語学科の二つの科を抱えている。



卓話中の生井さん(右端)

作業療法科は作業療法士を養成する専門学校で、修業年限は4年、高度専門士の称号を付与され、大学院への入学資格を取得できる。WF TO（世界作業療法士連盟）の認定校でもある。作業療法士は医療従事者の一員であり、理学療法士、言語聴覚士などと共に、リハビリテーション職と称されるもののうちのひとつ。心・体の障がいによって、日常生活に困難を抱える人が、身体的、精神的、社会的に「再び(リ)」「自分らしく生活できる(ハビリ)」よう、医師の指示の下で、日常生活の中での活動(作業)を通して、支援を行うのが使命。

YMCA作業療法科は過去4年間連続で国家試験合格率100%と神奈川県下第一の実績を誇っている。しかし、作業療法士の養成校は専門学校の他に、大学もあり、今年の新入学生数が定員40名に対して、29名であることが示すようにやや苦戦を強いられているのも事実とか。今後は、横浜Y

MCAグループの他の活動とも連携し、総合力を発揮することで、より魅力的な作業療法科を目指す。

生井校長の語り口は実に滑らかで、メッセージも明確であった。強いリーダーシップのもと、より大きな使命を達成されることを願ってやまない。

卓話の後は、ビジネス。最後は、天野ワイズから病状の経過報告があり、無事の復帰を祝福する暖かい拍手に包まれ、ほぼ定刻に終了した。

ロバ献金は18,000円。

## 「第4回湘南・沖縄部役員会報告」

金子 功

日時：4月23日（土）15:00～17:30

場所：横浜中央YMCA 501号室

林書記の司会のもと、今城部長の開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条唱和をして開会された。

今城部長の挨拶の後、会議成立定足数を確認して議事に入った。議長は今城部長。

最初は報告事項で、去る4月9日～10日に開催された第3回東日本区役員会について配布された議事録に沿って今城部長より報告された。特記事項としては「ヤングメンバーに対する区費補助制度の廃止」。代替案が第4回区役員会で審議予定。

今回の役員会の議案としては、第1号議案として、部則第8条4項の改正に関する件、と第2号議案の部則施行細則第2項;部役員の選出改正に関する件が部長から提案されたが、いずれもまだ現存しているであろう部則検討委員会で協議し評議会に答申することとした。

緊急案件として、部長より国際BF代表の受け入れ(6月6日～7日、チリ国パルパライソ・クラブ)について提案がなされ金子ワイズ(横浜クラブ)が調整役となって受け入れ準備をすることとした。

協議終了後、林書記より次の2点につき要望があった：①東日本区大会の部長報告で使用する各クラブの活動について写真2枚と200字程度の説明文の提出(期限4月末日)②部長通信第4号記載のクラブ報告(期限5月末日)

井上部担当主事からは熊本地震に対するYMCAの対応について説明があり、支援の要請が示された。

出席義務者18名のうち15名が出席、横浜クラブからは金子が出席した。

## 「近況 『U Boj(ウ・ボイ)』」

古賀健一郎



大学に入って入部したクラブが、あのダークダックスも所属していた「慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団」でした。音楽好きの私でしたが、残念ながら音楽性はありませんでした。一年生の夏合宿、ご指導された著名な芸大の先生の目の前で私ひとり「音がとれず」大恥をかきました。

さらに合宿の合間の休み時間、学生指揮者がピアノを弾いていた曲が芸大入試の課題曲だったと聞いて、このクラブは

★ 強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う ★

自分にはレベルが違い過ぎると挫折し、退部しました。その後は聴衆者の立場で音楽を楽しんでおります。

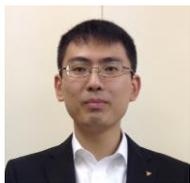
久しぶり、男性合唱の名曲の一つとされる、関西学院大学グリークラブの「U Boj(ウ・ボイ)」を聴き返しました。この曲は1566年ヨーロッパ征服をもくろむオスマントルコの大軍に包囲されたクロアチアのシゲット城の城兵が、決死隊を編成し、城主グリーンスキーを先頭に敵軍に切り込んでいく情景を歌ったものです。

城門を開け放ち決死の攻撃に出た時、「U Boj! U Boj!(戦え、戦え)」はその関(とき)の声でした。シゲット城は陥落しましたが、その戦いの影響でウィーンが攻撃を受けることはなく、ヨーロッパ大陸は守られました。自らの命を犠牲にオスマントルコの行く手を阻んだこの決死隊は、クロアチア、ハンガリー両国で国民的英雄として今も尊敬されています。

私はこの合唱曲にあらためて感動を覚えました。現在の混沌した世界情勢において、「U Boj! U Boj! (戦へ、戦へ! 剣を抜け、兄弟よ、我らの死に様を敵に知らしめよ)」との関(とき)の声は、「しっかりと平和への道を歩め!」と我々に諭しているように聞こえます。

## 「近況」

齋藤 宙也



1) 仕事は、3月上旬くらいまでかなり暇で、午後5時にはやることなくして事務所を出るといこともありました。ところが、3月下旬から急に仕事が増え、今月は約10件受任することになりました。昨年も、7月中旬～9月に新件が集中した波があり、今回もそういう波があるようです。

ここ数日は、急にそういう波が来てしまって大変な状況です。特に、アメリカ人の依頼者が来たため、英語で打合せ等を行なわなければならない、それに要する手間がかなり激しいです。

2) このような中、熊本地震が発生しました。昨年までいた町が震災に遭ってしまったということで、これまでにない特別な感情を抱きました。私の知り合いは、死亡したり重症という人はいませんでしたが、家や事務所の中はかなり物が散乱するようになってしまったようです。

熊本YMCAは、防災イベントを結構やっていた印象があります。YMCA自体もかなり被災していますが、現地Yの活動にも注目しています。支援物資を運ぶ車が一部の道路に集中し、その渋滞で輸送が遅れるのを見て、やきもきしています。徐々にインフラの復旧箇所が増えてきていますので、少しずつ渋滞は緩和されているようですが。

翌日には義援金の振込みをしましたが、今後も随時募金をしていきたいと思ひます。また、阿蘇へのアクセスがある程度できるようになったら、観光に行つて応援するようになりたいと思ひます。

## 「横浜とつかクラブ『たけのこ例会』」に参加

金子 功

4月22日(金) 横浜とつかクラブの「たけのこ例会」に出席させて頂いた。例年、この時期に吉原会長邸で行われる

もので、吉原会長の竹藪で実際に筍堀に挑戦し、筍三味の食事を楽しむ例会である。

J R戸塚駅から10分ほどバスに乗って午前11:00の集合時間に吉原邸に到着した。天気は前夜の雨も止んで暑いほどの快晴。泥のついたシャツ姿で出迎えてくれた吉原ワイズが「筍堀に行きますか。昨夜の雨で足元が悪いんで、今朝、もう皆のお土産分は掘っておきましたよ。」と。内心ホッとして筍堀はパスすることにした。気が付くと玄關脇には20本以上の立派な筍が山積みされていた。

ワイズソング、ワイズの信条を唱和し、会長の挨拶ではビジターの伊藤メネット(横浜クラブ)と私が紹介され歓迎された。ビジネスの中心議題は第19回東日本区大会への参加の件であった。

食事会では、吉原メネットを中心に準備されたご馳走の数々が所狭しとテーブルに並べられ、会話を楽しみながら心行くまで美味を楽しんだ。筍の煮もの、筍ごはんを賞味したことは言うまでもない。

帰りには持ちきれないほどの掘りたての筍を土産にもらい幸せ一杯の気持ちで吉原邸を後にした。吉原会長はじめ、とつかクラブの皆さまに心から感謝します。

## 第二例会報告

金子 功

日時: 4月28日(木) 16:55~19:30

場所: 横浜中央YMCA 501号室

出席者: 伊藤、金子、齋藤、古田

協議・確認事項

① 5月~6月の行事予定確認

② 第4回部役員会報告

1) 区役員会特記事項:

・ヤングメンバー補助制度の廃止

・第21回区大会ホストクラブ決定: 沼津クラブ

・プルタブ収集事業を地域奉仕事業委員会へ移行

2) 部則改訂委員会(鈴木委員長)に答申依頼

3) BF代表の受け入れ(金子ワイズ調整)

③ 第19回東日本区大会申込状況(横浜クラブ8名)

青木、伊藤、メ、齋藤、高田、田口、松島、金子

④ 一泊研修会の確認

⑤ つづきクラブ10周年金子会長参加(祝い金)

⑥ 横浜中央・北YMCA室内サッカー大会へのワイズの協力支援 横浜クラブとつづきクラブで協力支援

⑦ 熊本地震被災地支援

東日本区(同盟からの呼びかけ)、横浜YMCAからの協力要請に応え、5万円をクラブより、横浜YMCA経由で寄付し、継続してロバ献金を支援に充てる

⑧ 横浜クラブ会則及び細則の見直し作業

⑨ 今後の卓話: 大高ワイズ(6月)、古賀ワイズ(9月)

### 今度は缶ビール8万本分のプルタブ送付

4月14日、プルタブ40kgを東日本区に送付しました。昨年12月の22kgに続く快挙です。段ボール箱5個に詰められたプルタブは今回も菅沼義久元ワイズが集めて下さったものです。わざわざ中央YMCAまで届けて下さいました。

- ⑩ プルトップ車椅子贈呈申請：YMCA学院専門学校作業療法科の実習用に申請した
- ⑪ 多摩新クラブ、石巻広域クラブ設立の情報



担当主事 青木 一弘

■熊本地震緊急支援募金のお願い

4月14日から熊本県で発生している、マグニチュード7.3を含む連続地震で、27人が犠牲となり、熊本県内686の避難所で、91,763人が避難生活を余儀なくされています(熊本県発表4月16日16:00現在)。また、広い地域で交通網の寸断、停電、断水などが発生しており、現地の方々は不安の中で生活されています。

熊本YMCAでは指定管理者として運営する益城総合運動公園・体育館には500人を超える人びとが避難しています。YMCAでは全国からスタッフを派遣し、熊本YMCAと協力し避難所の運営、物資支援などの緊急支援活動を行っております。

横浜YMCAは全国のYMCAと協力し、熊本YMCAを通じた支援のための緊急支援募金を開始します。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

<募金期間> 4月16日(土)～6月30日(木)

<募金の方法>

神奈川県下のお近くのYMCAへまたは、下記にお振り込みください。

郵便振替先：口座番号：00230-8-2878

加入者名：公益財団法人横浜YMCA

(「熊本支援」とご明記ください)

■寿地区センター 2016年度講演会のお知らせ

寿地区センター講演会の案内です。今回は仁藤夢乃さんをお招きして、講演会を行います。寿と夢乃さん、一見無関係のように見えますが現代社会の貧困という点で共通している課題を考えましょう。詳細は、以下ご確認ください。ぜひ多くの方にもご案内いただけたらと思います。

日時：5月28日(土) 13:30～15:30

(13:00開場)

会場：紅葉坂教会 横浜市西区宮崎町1

お話し 仁藤夢乃さん『「難民高校生」～女子高生のリアル～』

現在、「居場所のない高校生」や「搾取の対象になりやすい青少年」の問題を発信するとともに、日常的な関わりを通して少女の支援を行っている。15年より、第30期東京都青少年問題協議会委員を務める。

参加費：無料 会場カンパあり

参加申し込みは事前申し込みをお願いします。

氏名、所属、住所、連絡先、を記して5月10日まで寿地区センターへファックス かメールで申し込んで下さい。

主催 日本キリスト教団 神奈川教区寿地区センター

電話・FAX 045-864-7141

メール [chikucen@nifty.com](mailto:chikucen@nifty.com)

■横浜YMCA会員総会のご案内

5月28日(土)には会員総会も実施されます。

日時：5月28(土) 17:00～20:00

場所：湘南とつかYMCA

会員総会では、2015年度の事業報告・会計報告、2016年度の事業計画・予算案、常議員の選出、会員表彰等が行われ、横浜YMCAの全体像を知る上でのまたとない機会ですので是非ご参加ください。会員総会の前には、昨年実施された「国際ボランティアinタイ」の報告会と今年度の説明会を実施する予定です。

5月例会：一泊研修プログラム

日時：5月6日(金) 15:00～

5月7日(土) ～11:00

場所：横浜市民ふれあいの里「上郷・森の家」

第一日目 6日(金) (司会 伊藤ワイズ)

15:00～ 例会・研修会オリエンテーション

開会点鐘・会長挨拶・ワイズソング・

信条・聖句

参加者紹介、プログラム紹介

15:15～ 研修I

発題「YMCAブランディング・プロジェクト」

池田直子氏 横浜YMCA広報担当

日本YMCA同盟ブランディング・タスク・チーム

17:00 ビジネス、生活案内

Happy Birthday：齋藤宙也(19)

高田敦子(23)

18:00～ 夕食(食堂)

20:00～ 懇親会

第二日目 7日(土)

～8:00 朝食(食堂)

9:00～ 研修会II (司会 古田ワイズ)

発題「ワイズの真髄」

高田一彦ワイズ

10:30 自由討議(I、IIを踏まえて)

11:00 閉会点鐘 …… 金子 会長

例会報告：古田ワイズ

6月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
4	金	12:45	第19回東日本区大会	長野
7	火	19:00	第73回Y-Y協議会	中央Y
9	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
18	土	15:00	第3回部評議会	中央Y
23	土	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは横浜YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール [aoki\\_kazuhiro@yokohamaymca.org](mailto:aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org)

電話 045-641-5785